

平成30年度 特色ある活動

練馬区立石神井東中学校
校長 堀井安伸

1 連携校のみならず各小学校との小中一貫教育の確実な実践

練馬区教育委員会小中一貫教育施設分離型実践校として、石神井東小学校と富士見台小学校と連携し、「自ら学び自ら考え、心身ともに健康で人間性が豊かな児童・生徒の育成」の実現を目指して、小中一貫教育の実践を進めています。

2 「あいうえお」の学校づくり

(あいさつがあふれ いじめがなく うつくしく えがおと おもいやりに満ちた)

を生活指導のスローガンとして明るく健全な生徒の育成を目指しています。

3 健全な成長への願いを込めた「フラワーロード」の管理・維持。

学校、生徒会、PTAの三者で気持ちを込めて育てています。



4 全教科全生徒による授業評価の実施

学期終了時の7月と1月の年2回生徒による授業の評価アンケートを実施し授業改善に活用しています。

5 石東タイムによる朝読書活動

全員で8:25~35の10分間で心を落ち着かせ読書をしています。これにより落ち着いた雰囲気での授業が始まることと本好きの生徒が増えています。

6 積極的に道徳の時間を公開

東京都教育委員会と学校とで共催して行う道徳授業地区公開講座を、学校公開日を積極的に活用し広くご意見をいただけるようにしています。

7 ミニ講演会、親子地域清掃、餅つき大会、職場体験等体験活動の実施

地域・保護者の支援をいただき、あらゆる体験を多く取り入れ地域を愛し貢献しようとする生徒を目指しています。

8 「部活動を支える会」の充実

適正な部活動の運営と活発化を図るため、部員の保護者による各部活動の支援の充実を図っています。

9 石東中ならではの学校行事の創造

時代の変化に即した新たな形とこれまでの伝統という「不易と流行」の融合を図り、「生きる力」を育むためにより良い学校行事を作り上げていきます。

10 いのちの講演会、オリンピック・パラリンピック講演会等外部講師による各種講演会の実施

自他共に「いのち」の大切さをあらゆる角度から学び、「いのち」を守る強固な精神を育み、自身の夢や目標を持てる生徒を育成する機会とします。

伝統的スローガン

学校 「心をひとつに」(校舎屋上に掲示)(みんなで良い学校をつくろうという趣旨)

部活動 「良きプレーヤーである前に良き中学生であれ」(体育館・校庭に掲示)

(運動部・文化部ともに部活動参加にあたっての心構えと意義)

本校の合い言葉 (平成29年度~)

「石東中は未来の私の出発点」

夢や目標をもって自ら定めた進路先へと巣立っていくための中学校生活であるという意識もつため